

## 【ターゲットへの自律的\_ユーザー制御の車両呼出】 Tesla

### ①要約：

この発明は、自動運転やバッテリーに関連しています。特に駐車場において自動化が進んでおり、アプリを使用して車両を呼び出すことができます。セキュリティや利便性の向上を目指しており、発明には自動償還機能や機械学習モデルを使用した周辺認識機能が含まれています。

### ②目的：

この発明の目的は、自動運転技術を活用して駐車場の利便性や安全性を向上させることです。また、ユーザーの車両を特定の場所まで自動で移動させることや、車両の空調設定を事前に行う機能によって、利便性を高めることも狙いとしています。

### ③新規性：

この発明は、自動運転技術やバッテリー関連の発明が多く含まれている点で新規性があります。特に駐車場での自動化やユーザーの要求に応じた自動車の操作が可能な点が特徴的です。

### ④独自性：

この発明は、テスラが電気自動車関連で先行している他社に比べて、発明の数や範囲が多いという独自性を持っています。さらに、イーロン・マスクが発明者として名前を連ねていることも独自性を高めています。

### ⑤経済価値

この発明は、自動運転技術や駐車場の自動化によって、利便性や安全性の向上を図っているため、経済価値があると言えます。特にショッピングモールなどでの駐車場の利用者にとって便利な機能が提供されることで、需要の増加や新たなビジネスモデルの可能性が生まれる可能性があります。また、テスラの発明は競争力を高める要素となり、企業価値の向上にも寄与することが期待されます。